



わたしたちの日本一美しい村

広報

じらがわ

2023

10
月号

No.627

9月2日(土)、白川郷学園体育大会が
開催されました。新型コロナウイルスによる
入場規制も緩和され、多くの方々に
応援されながら、手に汗握る戦いが繰り
広げられました。詳しくは裏表紙をご覧
ください。

CONTENTS

令和4年度白川村決算報告…………… 2・3ページ

フランス視察報告…………… 4・5ページ

郷フェス開催のお知らせ…………… 8ページ

令和4年度 白川村決算報告書

白川村9月議会定例会において、令和4年度一般会計・特別会計の決算が認定されましたので、その概要をお知らせします。令和4年度は、「白川村第2次総合戦略」の3年目の年であり、基本目標に掲げた「人口は維持以上を目指し、持続可能な村をつくる」が達成できるよう事業を実施しました。また、新型コロナウイルス感染症の拡大並びに長期化に対応するため、主に地域経済の活性化や消費喚起・観光対策等の事業展開を図りました。

一般会計歳入決算額は、前年比2.3%増の44億5,144万円となり、特別会計を合わせた村の歳入総額は、52億4,920万円でした。一般会計の歳出決算額は、前年比7.0%減の39億1,843万円となり、特別会計と合わせた村の歳出総額は、45億9,551万円になりました。一般会計における実質収支額は、歳入歳出差し引き額5億3,301万円から、翌年度へ繰り越すための一般財源1,503万円を差し引いた、5億1,798万円となり黒字でした。

一般会計の歳入のうち、最も大きなものは「地方交付税」の14億531万円で、歳入全体の32%を占めており、次に大きなものは「村税」の7億6,382万円で歳入全体の17%、「村債」は4億3,380万円で歳入全体の10%であり、この三つの財源により村の歳入全体の半分以上を占めています。

令和4年度に実施した主な事業について報告します。経済対策及び新型コロナウイルス感染症対策に関する事業として、村内の事業所で使用出来る商品券を全村民及び生活応援者を対象とした「白川村を元気にするプレミアム商品券事業」を実施、さらに「白川村くらし応援商品券事業」を実施し、低迷する経済の回復や活性化のため多くの方に活用して頂きました。また、前年度に引続き観光業の経済対策として「QRキャッシュレスキャンペーン」や「宿泊割引キャンペーン」を実施し、誘客や消費喚起を促しました。また、少子化対策として「子育て世帯への臨時特別給付金」及び「子育て世帯の生活支援特別給付金」を実施し、子育て世帯の家計の負担軽減へ繋がりました。

ハード事業では、令和3年度からの継続事業であります平瀬体育館改修事業を実施し、施設の長寿命化により、定住人口の増加や施設利用率の向上に繋がります。土木関係では安全・安心な道路交通確保のため、橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁の補修、耐震化工事のほか落石対策工事を実施し、生活に必要な不可欠な道路の改良を行いました。防災関係では、令和3年1月に馬狩地内で発生した雪崩災害により破損した防災行政無線馬狩中継局に代わる局舎建設工事を実施し、雪崩や震災等の災害に耐え得るより安全で強固な施設を整備し、村民の安心安全な環境づくりを進めました。

決算に係る主要な施策の成果及び財政用語の解説については、白川村ホームページに詳しく掲載していますのでご覧ください。

一般会計 歳入

総額 44億5,144万円

その他依存財源
8,020万円 (1.8%)

地方譲与税、地方消費税交付金、地方特例交付金、法人事業税交付金、
利子割交付金、配当割交付金、交通安全対策特別交付金、
株式等譲渡所得割交付金、環境性能割交付金

県支出金
1億2,588万円 (2.8%)
県からの負担金、補助金など

国庫支出金
2億8,795万円 (6.5%)
国からの負担金、補助金など

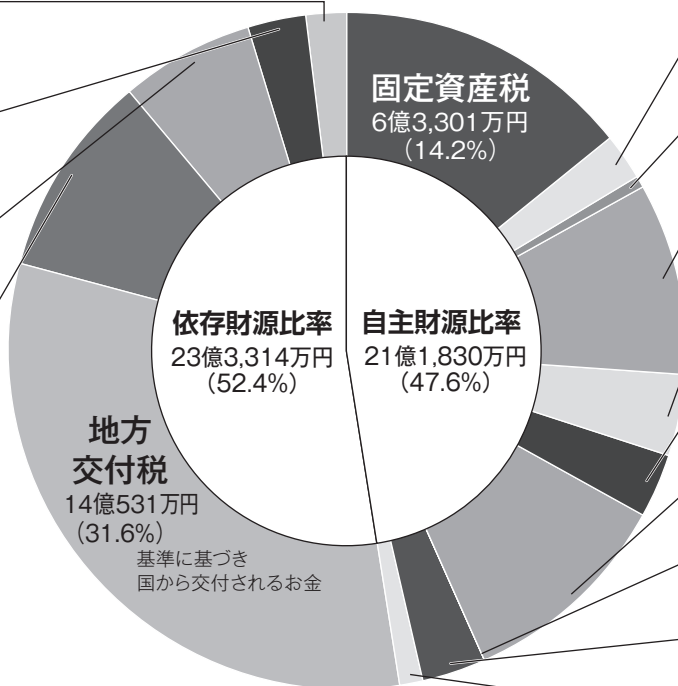
村債
4億3,380万円 (9.7%)
事業を行うための借金

地方交付税
14億531万円 (31.6%)
基準に基づき
国から交付されるお金

■ **自主財源**
村が自主的に収入
できる財源

■ **依存財源**
国や県から交付等
される財源

※%の数字は構成比です



村民税

1億723万円 (2.4%)

その他村税

2,358万円 (0.6%)

村たばこ税、入湯税、軽自動車税

諸収入

4億375万円 (9.1%)

使用料及び手数料

1億7,400万円 (3.9%)

財産収入

1億3,655万円 (3.1%)

寄附金

4億5,045万円 (10.1%)

繰入金

611万円 (0.1%)

繰越金

1億3,813万円 (3.1%)

分担金及び負担金

4,549万円 (1.0%)

会計別歳入歳出決算額・村債残高一覧

会計		歳入	歳出	年度末村債残高
一般会計		44億5,144万円	39億1,843万円	38億8,400万円
特別会計	国保（事業勘定）	1億9,636万円	1億5,626万円	0万円
	国保（直診勘定）	1億3,280万円	1億2,409万円	8,913万円
	簡易水道会計	5,551万円	5,003万円	1億2,490万円
	温泉開発会計	3,300万円	3,104万円	0万円
	公共下水道会計	1億1,419万円	1億 366万円	3億 828万円
	介護保険（サービス勘定）	343万円	36万円	0万円
	介護保険（事業勘定）	2億2,770万円	1億8,078万円	0万円
	後期高齢者医療	3,477万円	3,086万円	0万円
	特別会計合計	7億9,776万円	6億7,708万円	5億2,231万円
全会計合計		52億4,920万円	45億9,551万円	44億 631万円

◆村民1人あたりの全会計金額は（※令和5年3月31日現在の人口1,490人で算出しています。）

支出額 308万円（対前年度比 21万円減）
 基金 349万円（対前年度比 23万円増）
 地方債 296万円（対前年度比 4万円増）

一般会計 歳出

総額 39億1,843万円

災害復旧費
1億2,359万円 (3.2%)
災害復旧に関する経費

議会費
3,221万円 (0.8%)
議会報酬・議会運営に関する経費

衛生費
1億5,898万円 (4.1%)
保健・環境衛生などに関する経費

公債費
3億8,138万円 (9.7%)
借金の返済にあてる経費

総務費
5億7,656万円 (14.7%)
選挙・財政など村政全般に関する経費

民生費
3億4,579万円 (8.8%)
社会福祉に関する経費

教育費
5億5,593万円 (14.2%)
学校教育・文化財などに関する経費

消防費
2億6,580万円 (6.8%)
消防・防災に関する経費

商工費
6億6,466万円 (17.0%)
商工業・観光業に関する経費

農林水産業費
2億8,019万円 (7.1%)
農業・林業振興に関する経費

土木費
5億3,332万円 (13.6%)
道路建設など土木事業に関する経費

■財政力指数 0.331

自治体の財政の豊かさを表す指標です。基準値を1として、1に近いほど財政状況が良い（豊かである）といえる数値です。

■経常収支比率 70.5

自治体が人件費や生活保護費、借金の返済など避けられない経費に村税や地方交付税などの特定の収入に対してどれだけ充てられているかを示す指標です。率が低ければ財政的に余裕があり、独自の政策のための経費により多くのお金を投じることが可能となります。

※%の数字は構成比です

●問い合わせ先 財政課 TEL 6-1311

岐阜県知事の コルマールでの 調印式出席に伴う フランス視察報告

9/3 ~ 5

今回のフランス視察は、県が2014年から交流を続けてきたアルザス地方オ＝ラン県が北側にあるバ＝ラン県と合併し、新たに欧州自治体（CeA）へと組織の再編があったことを機に、県とCeAとの間で協力協定を新たに結ぶ運びとなりそこに白川村長も同席することとなり実現しました。本視察では、調印式の同席のほかに以前から友好関係にあるリクヴィール市に訪問し、教育・観光分野で意見交換を行いました。特に教育分野において今後の展望を認識共有することができました。

9月3日 ①リクヴィール視察（ミニトレイン・ワイン街道視察）

9月4日 ②専門ガイドによる市内視察

③リクヴィール市庁舎訪問・市内保育園、小学校の視察

④コルマール視察

⑤アルザス県調印式への参加

9月5日 ⑥ストラスブール中学校視察

①②

リクヴィール視察 （ミニトレイン・ワイン街道視察）

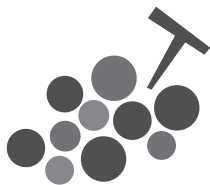
リクヴィール市のご厚意で市内を周るミニトレインに乗り、リクヴィールの歴史アナウンスを聞きながら市内を視察しました。リクヴィールの歴史や文化を理解し、白川村との共通点や相違点を把握することで、今後の観光分野における交流内容を検討する上での参考となりました。また、市内全体の様子を把握したことで観光地として駐車場の位置や観光客の導線をどのように整備しているか等を把握し、白川村の今後の駐車場の在り方について考えさせられる良い機会となりました。



①リクヴィール視察
（ミニトレイン・ワイン街道視察）



②専門ガイドによる市内視察





市庁舎での面談



小学校・保育園訪問

③ リクヴィール市庁舎訪問・市内保育園、小学校の視察

リクヴィール市庁舎でのリクヴィール副市長等との面談では、主に相互の観光に関する課題について意見交換を行いました。リクヴィールも白川村と同様に年間200万人程の観光客が訪れる観光地ですが、市内で事業所を営む事業者がリクヴィール市内に住まず、店舗だけ運営する形態が増え、人口減の課題に直面していることがわかりました。またリクヴィールとしては、市内に住んでもらえるのであれば積極的に市内の店舗を提供しており、住んだ後のサポートもしているようです。白川村も人口減が大きな課題となっているため、地域との合意形成を図ることを大前提とし、村外からの移住者を積極的に受け入れる環境整備を早急に行うべきだと感じました。

また、リクヴィール市内での保育園・小学校の視察では、子どもたちの学習の様子を見させて頂いたり実際に勤務されている先生の意見を聞かせて頂いたりしたことで、現状を把握することができました。リクヴィールの小学生たちは、こちらの想定以上に日本に対して興味を示しており、今後子ども同士での交流を想定したときにはプラス要素だと感じました。

④ コルマール視察

アルザス研究所の職員の案内で、コルマール市内を視察しました。アニメミュージアムでは、未完成でありましたが今後の構想の説明を受ける中で、フランスの方たちが日本の漫画文化について大変興味を示していることがわかりました。またコルマールの中心街の視察では、日本全国の産品を取り扱っている「Konjaku (コンジャク)」というギフトショップに訪問し、フランスの方が日本のどのようなものを好むのか説明を受けました。また今後白川村の産品を取り扱うことについても、可能性を見出すことができました。



産品ショップ Konjaku

⑤ アルザス県調印式への参加

調印式



全体記念撮影



県とCeAとの協力協定の調印式に同席しました。調印式において、CeAのフレデリック・ビエリー議長は、「今年は日本とアルザスの交流160周年であり、岐阜県とアルザスの交流の更なる拡大を図りたい。特に今後青少年・スポーツ、ガストロノミー・ツーリズム、生活様式や文化の分野では、両地域の『美しいもの』を共有していきたい。」と今回の協力締結に臨む抱負や意義を述べられました。それに対し古田県知事からは、「2024年は交流開始から10周年。今回の協定締結により、スポーツ、観光、食、文化、青少年など新しい分野での交流展開が期待される。」と新たな協定締結への期待を述べられました。



中学校視察

⑥ ストラスブール中学校視察

ストラスブールの中学校にて校長先生と面談しました。中学校側は日本の中学校との交流を強く望んでおり、学生同士の交流を盛んにすることで子どもたちに多くの学びを与えたいということでした。そのため、今後は友好都市であるリクヴィールの子もたちとの交流も視野に入れ、ストラスブールの中学校とどのような交流ができるかをオンラインでの打ち合わせを通して検討していくこととしました。

随行者：教育委員会事務局 新谷さゆり
観光振興課 小関 弘翔

- 保健師・管理栄養士さんからのお知らせ -



すこやかだより vol.139

子宮頸がん・乳がん検診を受けられなかった方へ

今年度から5月、9月の集団検診で都合により受けることができなかった方を対象に個別検診の償還払い（立替払い）を実施します。希望される方は村民課保健師までご連絡をお願いします。

- ・婦人科（子宮頸がん）や乳線外科（乳がん）医師に記入頂く結果票と償還払い申請書をお渡しします。
- ・村からの補助額は、集団検診委託料単価から個人負担金を差し引いた金額となります。

国の出産・子育て応援交付金について

令和4年度から国の子育て支援策として、伴走型支援（妊娠後と出産後に助産師又は保健師による相談）と経済的支援を行っています。白川村を含む県内4市町村は、県の集合契約（電子クーポンによる指定の育児カタログから現物給付）を締結せず、お子さんに利用して頂くことが目的で昨年同様に現金で10万円給付することとしました。貯蓄や保護者の生活費に使われることを避けるため、村では何を購入されたかのアンケートを妊娠8ヶ月相談と新生児訪問の際に実施いたします。

さわやか口腔健診（75歳以上）のお知らせ

さわやか口腔健診（75歳以上）の受付期限は、令和5年12月27日（水）です。対象者には、6月中にがん検診・住民健診の問診票と一緒に案内を郵送しています。ぜひこの機会に受診して、お口の健康をチェックしましょう！

	対象者	個人負担金	受診方法
さわやか口腔健診	75歳以上 (歯科治療の方は対象外)	300円	案内に記載されている指定の医療機関に電話予約をして受診ください。 持ち物：①受診券 ②健康保険証 ※受診券の再発行をご希望の方は、村民課までご連絡ください。

白川村飛まわり会の手作りバランス弁当を配食しました

白川村飛まわり会（食生活改善推進連絡協議会）では、9月20日（水）に第2回手作りバランス弁当を配食しました。今回のテーマは「認知症予防弁当」です。血中のホモシステインが多くなると血管の炎症が進みます。（＝動脈硬化）また、神経に上手く情報が伝わらなくなります。（＝認知症）ホモシステインを増やさないためには、「ビタミンB6」と「葉酸」が大切であり、今回のお弁当にはこれらの栄養素が豊富なほうれん草とピーマンを使用しました。

～お弁当の栄養価～

- ・エネルギー：545kcal
 - ・タンパク質：22.0g
 - ・脂質：16.3g
 - ・炭水化物：75.2g
 - ・塩分：2.3g
- 1食の目標量は2.0～2.5g程度です。

薬と健康の週間（10月17日～23日）お薬手帳を活用しましょう



お薬手帳とは、いつ、どこで、どんな薬を処方してもらったか記入する手帳です。医療機関を受診するときや入院するとき、これまで服用していた薬を正しく伝えることができ、薬の重複や飲み合わせを確認することができます。また、災害時や救急時、旅行先での急な受診など、お薬手帳があればこれまでの服薬状況がすぐわかります。

お薬手帳が複数ある場合は1冊にまとめておき、受診の際は忘れずに持参しましょう。

“ママと赤ちゃんのサロン”

飛騨地域の助産師さんによる子育て相談

【対象】

妊婦さん、未就園児とママ

※前週金曜日までにお申込みください。

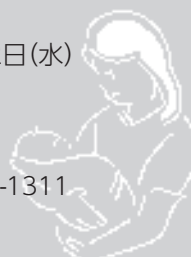
【日時】

10月25日（水）、11月22日（水）
いずれも10時～11時半

【場所】 鳩谷体育館

【申込み】 村民課 ☎ 6-1311

LINEバンド





南部地区文化会館のマスコット
「エデッ子ちゃん」よろしくね!

南部地区文化会館だより

村民の力が引き出される場

NBKへようこそ!

Nanbuchiku Bunka Kaikan

すくすくぽん (乳幼児家庭教育学級)



抱っことおんぶのお話

教育委員会では南部地区文化会館を主会場として、0～3歳児までの親子を対象とした乳幼児家庭教育学級「すくすくぽん」を年間37回の計画で開催しています。

子育てについてや親自身の心身の健康についてなどを学び合ったり、お子さんの発育に大切な遊びや季節行事等を行ったりしています。村内外から専門の講師をお招きしての学習会やお話会、交流会なども行っています。

学び合うことも大切にしてはいますが、最も大切なことは「人と人とのつながりづくり」です。近い年齢のお子さんがある親同士のつながりは、困ったときに助け合えることや、ちょっと息抜きにおしゃべりすることなど、とても大切なことです。また、親が楽しく会話をしたり活動をしたりしている姿は、お子さんの心の安定にもつながり、お友達との関わりや他の親との関わりなど、お子さんにとっても「人と人とのつながり」を経験できる場となっています。



ママさんヨガ



お水あそび



乳幼児救急対処講座



学園生徒託児体験

すくすくぽんは妊婦の方も参加できますので、ぜひ「人と人とのつながり」づくりのきっかけとして、ちょっと寄ってみてはいかがでしょうか。

南部地区文化会館と総合文化交流施設（道の駅白川郷隣接施設）には、いつでも利用できる乳幼児の部屋がありますので、そちらもぜひご活用ください。

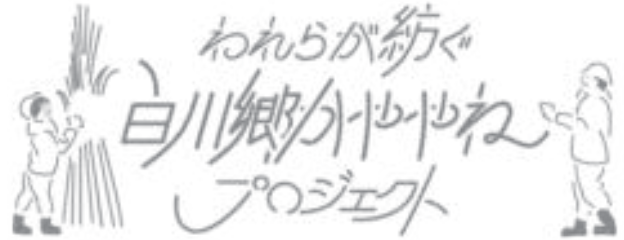
【問い合わせ先 教育委員会事務局家庭教育係（新谷） 5-2180】

かややね会議

白川村の皆さん、こんにちは！（公財）日本ナショナルトラストの出口です。

今回は、9月1日に開催したかややね会議の報告をいたします。

今回のかややね会議は、ゲストのお話と、今年の茅刈りイベント2日目に行く「オダレ作り」への意見交換の2本立てで行いました。参加者は15名。今は白川村以外に住む村出身の方や、ゲストのお話を聞きたい人、今年の茅刈りイベントに参加される方など、様々な方が集まりました。



第1部：ゲストのお話 筑波大学芸術系 宮原克人先生

宮原先生と、かやほうき作りをされた方もいらっしゃると思います。今回のかややね会議では、木工・漆芸がご専門の宮原先生に、自然素材の手作り道具の魅力についてお話いただきました。特に印象的だった内容はこちらです。

漆芸の道具は手作りする。そのため、使いやすく、手入れが容易で長持ちするように作る。

身近な自然素材を使った造形では、植物素材の扱いを理解し、工夫することで、様々な物が作れる。

宮本常一『塩の道』（講談社学術文庫、1985年）では、身近にあるものをどう使うかを考えることを「軟質文化」として、日本は軟質文化であると書かれている（宮原先生のお勧めの本です。気になった方はチェックを！）。

自然素材でのものづくりは貴重なこと。このようなチャンスは滅多にないと思うので、ぜひ白川村での取り組みを頑張ってください。

参加者の方からはこのようなコメントがありました。「身近な材料でものを作ることは、生きる力だと感じた。それを脈々と続けている白川村は凄い。生きていく力が強い人から学べることは貴重だと思う。」

その後、白川郷荻町集落の自然環境を守る会 尾崎事務局長から、茅刈りイベントの準備のための下草刈りが実施されたことや、守る会の皆さんでオダレ作り企画の検討を行っていることなど、最近の様子をお話いただきました。

第4回郷フェス（白川郷産品フェス）の開催について

白川村では、村の素材を活用して作られた「白川郷産品」の普及促進、及び経済の活性化を目的に「郷フェス」を開催します。

今回は昨年の開催方法を変更し、村内の参加事業者各店舗を巡るスタンプラリー形式で開催をします。村内事業所を巡って限定ステッカーをGETしてみてください。

開催期間

11月4日(土)～11月17日(金) 2週間

開催場所

各参加事業者店舗

※参加事業者は10月中旬頃に村ホームページに掲載します



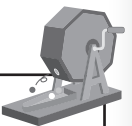
開催内容

①スタンプラリーイベント

各参加事業者店舗にて白川郷産品を購入するとスタンプカードとスタンプを獲得
参加事業者店舗を回ってスタンプを集めると記念ステッカーをGET

②産品抽選会

スタンプラリーカードに記載のQRコードからアンケートに回答すると回答してくれた方から抽選で白川郷産品をプレゼント



第2部：「オダレ作り」意見交換

今年の茅刈りイベント2日目企画「オダレ作り」について、参加者で意見交換を行いました。こんなことも出来たら面白いのでは、と出た意見をご紹介します。

オダレに、作った人の名前のタグをつける。実際に使っている時に、自分が関わったオダレだと分かって嬉しい！

オダレのある時は、光が入りにくい場合があると聞いた。オダレで光の量を調整出来る方法を考えられないだろうか。

オダレになじみがない人も多い。茅刈りイベントは全国各地から人が集まるので、他の地域の雪囲いの話も聞けたら面白い。

10月に行うかややね会議では、オンライン上にはなりません。茅刈りイベントに参加する白川村内外の皆さんで集まりたいと考えています。実際に白川村で顔を合わせられることがより楽しみになるような回になるよう、企画中です！詳細が決まり次第、かややね会議Instagramや日本ナショナルトラストfacebookに掲載します。



1部と2部両方にご参加の皆さん。2部に行った自己紹介では、「今週末の予定」をテーマにお話いただきました。予定からも皆さんのことが分かる面白い機会でした。

かややね会議の様子や次回の案内は、Instagramで情報発信しています。ぜひこちらからご覧ください。



かややね会議とは

白川村と（公財）日本ナショナルトラストの協働事業「われらが紡ぐ白川郷かややねプロジェクト」の取り組みの1つ。白川村内外の、茅や白川村の暮らしに関心がある人が集まり、秋の一斉茅刈りの企画の一部を作ったり、茅や白川村の魅力を語り伝えるイベントを企画・実施しています。

地域おこし協力隊から こんにちは！

こんにちは、深山豆富店の白井です。

最近は大いぶ涼しくなり秋っぽくなってきましたね。少し前まで暑くて寝苦しかったのが懐かしいです。徐々に冬へ向けて色々準備していきたいですね。

さてここ一か月、深山豆富店ではたくさんの方がお越しくださいました。中でも大きなイベントとして9月9日（土）～10日（日）にかけて深山復活2周年感謝祭を行いました！多くの来店、本当にありがとうございました！キッチンカー「ハルバル」さんご協力で特別ランチや、普段お店にはない各店の商品が勢ぞろいで華やかでした！

また他にも色々なことへチャレンジ中ですので、お店の近くを通った際には気軽にお立ち寄りください！また出先で見かけた時も良かったら声をかけてください！あと季節の変わり目ですので、体調にはくれぐれも気を付けていきましょう。





「敬老会を開催しました」

9月15日（金）、鳩谷コミュニティ会館において敬老会が開催され、白川村シニアクラブ会員ら122名が参加しました。村長より、本年度中に米寿・喜寿を迎えられる方々へ記念品が贈られた後、祝宴では全国で活動している「MIKAREN」と「まりもちゃん」による演芸が行われ、終始賑やかな雰囲気になっていました。



広げよう「里親」の輪

10月は「里親」月間です

親の病気や貧困、育児放棄などさまざまな理由で家族と暮らせない子どもたちは、全国に4万5千人程度いると言われており、うち8割は施設で暮らしています。子どもたちにとって少しでも家庭的環境を経験することや地域の中での育ちは成長にとってとても重要です。このような子どもたちを迎え入れサポートする役割のひとつに「里親」があります。

●里親制度には

養子縁組を前提にした「養子縁組里親」の他にも、家庭に戻り生活できるようになることや、18歳など自立した生活ができるようになるまでの間を預かる「養育里親」などがあります。

また、短期間、児童養護施設の子どもの預かる「ショート里親事業」や、親の病気等で一時的に子どもを養育できない場合に短期間、里親等が預かる市の「子育て短期支援事業」もあります。

『里親Q&A』

- ◎ 里親として何か特別な資格は必要？
- ▲ 特別な資格は必要ありません。ただし、研修を受講し県の認定・登録は必要です。
- ◎ 里親として子どもを迎え入れるのは、どのくらいの期間？
- ▲ 数年間の委託から、数週間～1年以内の短期間までひとり一人の子どもたちのニーズによります。
- ◎ 実子がいても里親になれるの？
- ▲ 里親になることは可能ですが、実子の人数により制限があります。また、実子の意思を尊重する必要があります。

【里親について、もっと知りたい！】

- ◎ 里親登録や、短期間のショート里親を考えてみえる方制度の詳細な内容や研修制度などご案内いたします。
- ◎ 団体や企業等で里親制度の研修会や座談会の開催が可能な場合
日程や内容などご相談下さい。(30分程度～)

問合せ先

岐阜県飛騨子ども相談センター（児童相談所）
または ひだ子ども家庭支援センターぱすてる

TEL 0577-32-0594
TEL 0577-37-1061

宝くじの助成金により整備しました

一般財団法人自治総合センターが行っているコミュニティ助成事業を活用し、白川村公民館運営連絡協議会では、折り畳みイス、音響機器を購入しました。

コミュニティ助成事業とは、コミュニティ活動の促進と健全な発展を図るとともに、宝くじの社会貢献広報を目的としています。

※村民の方もご使用頂けます。使用したい方は、教育委員会事務局（☎5-2180）までお問い合わせ下さい。



消防署だより

🔥 秋季全国火災予防運動

11月9日（木）～11月15日（水）まで、秋の火災予防運動が全国で実施されます。これからの季節は空気が乾燥し、火災が発生しやすくなります。火の取り扱いには注意しましょう。

地震直後の行動

- ・停電中は電化製品のスイッチを切るとともに、電源プラグをコンセントから抜く。
- ・石油ストーブやファンヒーターからの油漏れの有無を確認する。
- ・避難するときはブレーカーを落とす。

令和五年度 全国統一防火標語
『火を消して 不安を消して つなぐ未来』

🔥 地震による火災を防ぐために

事前の対策

- ・住まいの耐震性を確保する。
- ・家具等の転倒防止対策（固定）を行う。
- ・感震ブレイカーを設置する。
- ・ストーブ等の暖房機器の周辺は整理整頓し、燃えやすい物を近くに置かない。
- ・住宅用火災警報器を設置する。



🔥 Net119

緊急通報システム

Net119緊急通報システムとは、言葉を話すことや聴覚が不自由な方が、円滑に消防へ通報を行うためのシステムです。

スマートフォンなどから通報用WEBサイトにアクセスして、消防本部が消防隊や救急隊をどこに出動させるべきかを判断するために必要な「救急「火事」の種類と、通報者の位置情報を入力すれば、即座に消防本部につながる仕組みとなっています。利用にあたっては、事前に登録が必要です。

🔥 火事・救急・救助は119番へ!! 🔥
〔9月中の火災・救急・救助〕 火災0件 救急7件 救助0件

「問合せ先」白川出張所 ☎六二〇九九

村からのお知らせのほか、国や県などの情報を紹介します

納期を守って明るい村づくり

- ◆村県民税（第3期分）
- ◆国民健康保険料（第7期分）
- ◆後期高齢者医療保険料（第4期分）
- ◆介護保険料（第7期分）
- ◆保育料（10月分）

納期限は10月25日（水）です



早めのライト点灯を心掛けましょう

秋も深まり、日の暮れる時間がとても早くなりました。車を運転する際、暗くなる前にライトを付けることは、歩行者や自転車などを認識しやすくなるため、事故防止につながります。早めのライト点灯を心掛けましょう。

お巡りさんからのお知らせ

早めのライト点灯を！

- ・10月～12月は死亡・重傷事故の3割を人対車両事故が占めています。

特に薄暮時（日の入り時間の前後1時間）における人対車両の事故は7～9月と比較して約3.1倍発生しており、日の入り後1時間以内に多く発生しています。

- ・17時台・18時台は道路横断中の交通事故が大半を占め、横断歩道横断中の事故も多く発生しています。

<<運転者の皆さんへ>>

- 早めのライト点灯
日没30分前を目安に、早めにライトを点灯させましょう。
- ハイビームの活用
夜間、先行者や対向車がない場合はハイビームを活用し、歩行者や自転車を早めに発見できるようにしましょう。

<<歩行者のみなさんへ>>

- 『明るい服装』と『反射材』着用の徹底
夕暮れ時や夜間外出する際は、明るい服装で、必ず反射材を身につけましょう。
- 『止まる』『見る』『待つ』『確かめる』の徹底
道路を横断するときは一歩立ち止まり、左右の安全を確実に確認しましょう。

高山警察署
ホームページ



〈問い合わせ先〉鳩ヶ谷駐在所 TEL 6-1004 平瀬駐在所 TEL 5-2261

令和5年度 入札結果 公表 9月分

(9月22日執行分)

旧白川小学校解体工事 落札 沢田建設(株)	136,000,000円
村道 平瀬派出所線 舗装補修工事 落札 (株)太信	2,900,000円
村道 木谷稗田線 舗装補修工事 落札 (株)田口建設	6,540,000円
馬狩仮設路復旧工事 落札 飯島建設(株)	1,900,000円
白山白川郷ホワイトロード林道橋点検 落札 大日コンサルタント(株)高山事務所	1,970,000円

CALENDAR

主な行事予定

10月

日	曜	事項
19	木	どぶろく祭(飯島) ふるさと白川郷ウィーク(学園)・食育の日
20	金	椿原祭礼・リサイクルハウス受入日
21	土	有家ヶ原・芦倉祭礼
22	日	小白川祭礼・リサイクルハウス受入日
23	月	登校ふれあい週間(～27日)・小白川祭礼
24	火	
25	水	村税等納期限
26	木	
27	金	リサイクルハウス受入日
28	土	資源リサイクル(学園PTA)
29	日	秋季火災予防運動(～11月4日) 秋の火の元検査・防災訓練
30	月	
31	火	

11月

日	曜	事項
1	水	子ども・若者等育成支援強調月間(～30日)
2	木	リサイクルハウス受入日
3	金	文化の日
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	
9	木	献血車来村
10	金	区長文書発送・リサイクルハウス受入日
11	土	
12	日	
13	月	
14	火	
15	水	消費生活相談会
16	木	
17	金	リサイクルハウス受入日
18	土	地域公開日・子ども未来会議(学園)



全国児童虐待防止運動について

白川村では11月の児童虐待防止推進月間に合わせて、にムーンライト（通常は高校生の下校時刻に合わせた防犯を目的としたもの）と兼ねて実施します。

地域の見守り隊である村民の皆様と一緒に、子どもたちの健やかな未来を願って、啓発を推進する目的で点灯します。

▼月日

11/1(水)、2(木)、6(月)、7(火)

▼時間

18:30~20:30

子育てに悩んだ時や虐待かもと思ったら、子どもの命を守るために迷わずにご連絡をお願いします。

例えば…

- ・子どもの異常な泣き声が毎晩のように聞こえる
- ・表情が乏しい
- ・不自然なケガがある
- ・身体が非常に不潔である
- ・衣服がひどく汚れている

児童相談所虐待対応ダイヤル

189（いちはやく）

通話料は無料です。

飛騨子ども相談センターへ

繋がります。



条件賃貸住宅「だいだいどころ」の入居者募集について

条件賃貸住宅「だいだいどころ」について、入居者を10月20日（金）から募集いたします。詳細につきましては、役場ホームページの「空き家バンク」をご確認ください。

▼問い合わせ先

白川村役場

観光振興課

☎6-1311



令和5年度 女性に対する暴力をなくす運動

毎年11月12日から11月25日までの2週間を「女性に対する暴力をなくす運動」期間と定め、地方公共団体や女性団体をはじめとする関係団体と連携の下、社会全体で「女性に対する暴力」を許さない機運を醸成するため、広報・啓発活動などの取組を集中的に実施します。

望まない性的な行為は、性暴力です。性暴力は、性別や年齢にかかわらず起こります。身近な人や交際相手、配偶者から被害を受けることもあります。悩んでいる方は、ひとりで抱えずご相談ください。

電話での相談先

内閣府 性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター

☎#8891

警察庁性犯罪被害相談電話

☎#8103

県「不正軽油110番窓口」について

不正軽油に関する次のような情報がありましたら、「不正軽油110番」までお寄せください。

- トラックの燃料に灯油や重油が使用されている。
- 不審なタンクローリーが出入りしている施設がある。
- 建物から油の臭いがする。

「不正軽油110番窓口」／飛騨県税事務所

電話：0577-33-1111(内線292)

メール：c21308@pref.gifu.lg.jp

白川村社会福祉協議会からのお知らせ

■9月の社会福祉協議会活動報告

- 要支援利用者 アセスメント調査 2件
- モニタリング 14件
- 請求 14件
- 会議出席 4件
- 要介護認定事務調査 新規 1件
- 区分変更 1件
- 更新 3件
- 70歳以上ひとり暮らし世帯 『まめなかな訪問』 44件
- ふれあい・いきいきサロン開催 2地区（白川地区は合同）
- 生活支援世帯訪問 2件
- 住民生活相談 4件
- 大学生研修講師 1件
- 敬老会協力
- 婚活事業チラシ作成、掲示

【問合せ先】白川村社会福祉協議会 ☎6-1311



岐阜県広報 **岐阜県からのお知らせ**

点字版・音声版をご希望の方は、県庁広報課へご連絡ください
音声版には、CD(デジター編集)での提供と音声用のテキストデータの配信もあります

今月のピックアップ情報

「2023地方創生フォーラムin岐阜」を開催します

岐阜県では、豊かな自然環境、その中で育まれた文化、芸術、産業などの地域資源、清流文化の魅力発信や活力づくりに取り組んできました。来年度には「清流の国ぎふ」文化祭2024も開催されます。清流文化を活かした地方創生について理解を深める地方創生フォーラムで、ご自身の身近にある清流文化や、これを活かした地域づくりについて考えてみませんか。

- とき／11月21日(火) 13:30～16:30
- ところ／県庁1階 ミナモホール(岐阜市)
- 定員／500人(先着順)
- 料金／無料
- 申込方法／申込フォーム、FAX、Eメール等
- 申込期限／11月10日(金) 必着
- 申込先／一般財団法人 地域活性化センター
- 問／県清流の国づくり政策課 ☎058(272)1840



地方創生フォーラムin岐阜

[検索](#)

● 県の人口

1,932,055人(616人減)

※令和5年7月1日現在
※()内は前月との比較

県政広報テレビ番組「ぎふ県政ほっとライン」

ぎふちゃん(8ch)データ放送で「岐阜県からのお知らせ」も配信中!

「清流の国ぎふ 岐阜県ミナモだより」

「@Gifu_kouhou」

ボタンを押して地元情報をゲット!



令和5年10月1日県内全域でスタート! 救急安心センターぎふ(#7119)

急な病気やけがをしたときに、救急車を呼んだほうがいいのか、今すぐ病院に行ったほうがいいのか、受診できる医療機関はどこかなど、判断に迷ったときに専門家からアドバイスを受けることができる電話相談窓口「救急安心センターぎふ(#7119)」の運用を令和5年10月1日(日)から県内全域で開始します。



- 利用方法／携帯電話、プッシュ回線からは「#7119」ダイヤル回線、IP電話からは☎058(265)0009
- 相談時間／24時間365日
- 問／県医療整備課 ☎058(272)8267

岐阜県 #7119

[検索](#)

情報ボックス



県広報は県公式ウェブサイト、広報紙ポータルサイト「マイ広報紙」・「岐阜イーブックス」、広報紙アプリ「マチイロ」でも公開中!
※掲載している二次元コードは、スマートフォンの機種やアプリなどによって、読み込めない場合があります

アイコン説明 催し 募集 資格・研修 その他

清流の国ぎふオレンジリボン 児童虐待防止講演会の参加者募集

「虐待が子どもに及ぼす影響と虐待を防ぐために地域でできること」をテーマに講演会を開催します。※無料

- とき／11月1日(水)～30日(木) Youtube配信
- 講師／加藤雅江(杏林大学健康福祉学科教授)
- 申込期限／11月30日(木) 17:00
- 申込先・問／県子ども家庭課 ☎058(272)8325

申込フォームは こちらから

養老新能を開催 世阿弥作の演目「養老」を上演

養老公園県営化100周年・都市公園制度150周年を記念して、世阿弥作の能の演目「養老」等を上演します。

- とき／10月21日(土) 18:00～
- ところ／養老公園内 ※雨天時:養老町民会館
- 料金／無料(定員600人)
- 申込方法／養老公園HPでご確認ください
- 問／養老公園事務所 ☎0584(32)0501

養老公園 [検索](#)

10月は「骨髄バンク推進月間」です 骨髄ドナー登録にご協力を

骨髄移植や末梢血幹細胞移植は、白血病や再生不良性貧血などの病気を治療することができます。多くの患者さんを救うためにも、骨髄ドナー登録にご協力ください。

- 対象／18歳以上54歳以下かつ男性45kg、女性40kg以上で健康状態に問題のない方
- 登録場所／岐阜県赤十字血液センターまたは県の一部保健所
- 問／県保健医療課 ☎058(272)8276 日本骨髄バンク ☎03(5280)1789

木工芸術スクール訓練生募集 (県内募集・一般募集)

- 試験日／県内募集:10月27日(金)、一般募集:11月19日(日)
- 募集定員／県内募集5名程度、一般募集15名程度
- 願書／木工芸術スクール、県労働雇用課、ハローワーク、ウェブサイトで入手可能
- 受付／県内募集:9月28日～10月18日、一般募集:10月19日～11月8日[消印有効]
- 申込先・問／木工芸術スクール ☎0577(32)1143

清流の国ぎふ女性の活躍推進フォーラムを開催します

「ぎふ女の力を日本へ、世界へ」をテーマにトークセッションを開催します。※無料

- とき／10月31日(火) 13:00～14:30
- ところ／県庁1階 ミナモホール(岐阜市)
- 定員／375人(先着順)
- 申込方法／申込フォーム、メール、郵送
- 問／県男女共同参画・女性の活躍推進課 ☎058(272)8236

県内で省エネ住宅取得をお考えのあなたへ!

県内で高い省エネ性能を有する住宅を新築または購入すると、60万円または40万円の補助が受けられます。

- 申込方法／ウェブサイトを確認
- 申込期限／令和5年11月15日(水) 必着
- 申込先・問／県住宅課 ☎058(272)8693

脱炭素社会ぎふモデル住宅補助金 [検索](#)

この情報は令和5年9月4日現在のものです。
県庁広報課 ☎058(272)1111(代) FAX058(278)2506

スマホやタブレットで 広報紙が読める

広報紙をPC・スマホで @マイ広報紙

電子書籍ポータルサイト @岐阜イーブックス

まちを好きになるアプリ @マチイロ

親子で椅子づくりにチャレンジ

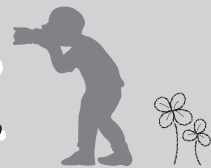
9月18日(月・祝)白川郷学園技術室で木工教室が開催され、白川郷学園4年生の親子ら20名が参加しました。今年で37回目を迎える木工教室は白川村の伝統ある親子行事です。白川村の全体面積のおよそ95%を占める豊かな森林についても学んでいただくため、飛騨農林事務所より林業普及員の方に森林の役割や働きについてお話しいただきました。

その後、親子で木製のブックスタンドの作成に挑戦しました。親子で協力しながら工夫を凝らしたブックスタンドを完成させました。



カメラさんぽ

topics



遊具が新しくなりました

白川児童公園(旧白川小学校グラウンド)にある遊具が新しくなりました。これまでであったものに比べて少し小型になり、小さな子どもでも遊びやすいものになりました。休日には子どもを連れて、ぜひ遊びに行かれてはいかがでしょうか。



白川村戦没者追悼式の開催

9月10日(日)白川八幡神社招魂社において、白川村戦没者追悼式が行われました。御霊を慰め、恒久平和を願いながら、悲惨な戦争が風化しないよう親から子、子から孫へと意思をつなぐことの必要性も再確認されました。

白川郷学園体育大会&白川保育園運動会 開催!!

9月2日(土)に学園体育大会、9月16日(土)に保育園運動会が開催されました。両日も天気に恵まれ、園児・児童生徒は各種目に目一杯取り組みました。



体育大会

今回は昨年度のように入場制限は行わず、地域の高齢者の方も招待して、多くの方々に応援頂きました。応援合戦、綱引き、リレーなどの種目で、赤団・白団ともに白熱した戦いを見せてくれました。特に最終種目である選抜リレーでは、選ばれた児童生徒がコースを素早く駆け回り、最後までどちらが勝つか分からない接戦に大歓声が沸き起こっていました。

運動会

保育園統合後、初めての運動会となりました。フラフープリレー、障害物競争などの親子競技では、親子で時には協力し、時には競い合い、大いに盛り上がっていました。また、園児たちはダンスを披露したり、リレーで思いっきり走ったり、保護者に元気いっぱいな姿を見せていました。



むらの人口

男 733人(-1)
女 758人(-3)
計 1,491人(-4)
世帯数 593世帯(-3)
高齢化率 33.67%
10月1日現在、()内は前月比

9月11日 大杉 88歳(平瀬)
9月6日 半田ミよ子(萩町)
9月1日 面村みさゑ(萩町)
8月10日 小坂 勝美(平瀬)
83歳

おくやみ申し上げます



誕生おめでとう
谷口 碧虹ちゃん(平瀬)
9月5日 暁良・智代

戸籍の
まど



応援してください!ふるさと納税 村外のご親戚やご友人に、白川村への「ふるさと納税」をお勧めください。